

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	設計製図2 (Atelier Practice of Design and Drawing 2)		
ナンバリングコード	L20307	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 標準レベル 建築設計製図
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L030752	クラス名	-
担当教員名	江越 充、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、小田 健、福田 健、石井 翔大		
履修上の注意、履修条件	「製図」、「設計製図1」および「建築計画1」を受講しておいて下さい。 担当指導教員によるエスキスチェックは毎週受けることを原則とします。 また、エスキスチェックを受けない者、および、提出期限後の課題提出は認められないので注意して下さい。		
教科書	コンパクト建築設計資料集 第3版(丸善) 日本建築学会編		
参考文献及び指定図書	『建築設計資料集; 29、33、74』(建築資料研究社)建築思潮研究所編 『新・建築設計資料01 地域交流・市民交流施設』(建築資料研究社)建築思潮研究所編 『図解 建築プレゼンのグラフィックデザイン』(鹿島出版会)坂牛卓、平瀬有人、中野豪雄、他(著)		
関連科目	基礎製図、設計製図1、建築計画1など。		

○基本情報							
授業の目的	<p>建築設計の基本的知識と基礎的能力を養成することを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題は合計2課題あります。 建築設計を進めていく上での基本的プロセス・手法や機能的な平面計画、合理的な構造計画、明確に意図され秩序づけられた空間構成、適切な図面表現など設計の基礎的能力を習得します。 また、周辺地域の特性を含む敷地の調査の仕方を学びます。 						
授業の概要	<p>第1課題「大学構内のレストハウス」は、当大学構内を敷地とし、学内に相応しく、魅力的な空間のあり方を検討・提案する課題です。 制作過程においては、課題主旨の読み取りや、敷地の持つ場所性(意味・特色)を吟味し、各自が個々のコンセプトを提示し、そのことを踏まえた3次元造形としての建築設計を試みます。</p> <p>第2課題「アーバンスモールビル」では、大分市中心市街地の一角を敷地とし、小規模なビルディングの設計演習を行うことによって、垂直方向に積み重ねられた建物の建築設計の基礎的課題に対応する能力を習得するとともに、敷地周辺の街並みの観察、サーベイを通して、街づくりの観点を踏まえた建築の企画・設計について学習します。</p>						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「実験実習形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「プレゼンテーション」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「実験実習形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
(1) 授業の形式	「実験実習形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	<p>小田健(株式会社ヴァイン設計工房 所長)(建築設計コンサルタント業務)、 建築作品の制作指導</p> <p>宮部洋二(studio/CASAS一級建築士事務所 所長)(建築設計コンサルタント業務)、 建築作品の制作指導</p>						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①建築設計に対し関心を持ち、積極的に課題制作に取り組むことができる。		15点	10点
【知識・理解】	②敷地調査を行い、その特徴を理解して、課題の建築物の配置計画を適切に行うことができる。③課題の建築物の構造計画、平面計画、空間構成を適切に行うことができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	④設計した建築作品をよく表現する模型の作り方を習得する。 ⑤正確で適切な図面表現の仕方を習得するとともに、わかりやすく美しいプレゼンテーション能力を身につける。		30点	
【思考・判断・創造】	⑥課題に対し適切で魅力的な建築空間を提案することができる。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<ul style="list-style-type: none"> 講評会前日に提出することが最低条件です。 講評会前に各担当教員の評価とフィードバックを受けてください。 作品の成績評価が確定した後に、個々の作品は、自宅へ持ち帰るなど、各自で管理してください。 定められた期限以降も製図室内に図面や模型を放置している場合は減点対象とします。 内容の評価については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。 S:よく満たしている。 A:ほぼ満たしている。 B:一応満たしている。 C:一部分満たしている。 <p>※ 作品のプレゼンテーション時に優れた発表を行ったり、積極的に発言した場合は、成績評価の加点対象となります。</p>	

○その他	
<ul style="list-style-type: none"> 製図室は建築学科全体の共有スペースです。使用した後は、周囲を綺麗に掃除するなど、片付けて退出してください。 各講評会終了週以降に履修者全員参加による大掃除をしますので、必ず参加してください。 課題のフィードバックとして、毎回の授業中に個々の学生に対し、個別に一人ずつ講評・解説を行います。これを「エスキスチェック」と言います。 	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	設計製図2 (Atelier Practice of Design and Drawing 2)	授業コード	L030752
	担当教員	江越 充、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、小田 健、福田 健、石井 翔大		
学修内容				
1. オリエンテーション(課題説明) 設計製図の授業プログラムに関して、オリエンテーションを行います。 加えて、第1課題「大学構内のレストハウス」について主旨説明を行います。 課題を進める上で有用な参考事例の紹介を行います。 設計製図は少人数教育にて行うため、1グループあたり20名程度のグループ編成を行います。				
	予習	課題説明用のレジュメの読み込み、コンセプトや空間イメージの仮設定など		(約2.0h)
	復習	敷地を選定し調査分析する。休息以外の機能を設定し、参考となる具体的事例の作品分析を行う。		(約2.0h)
2. 大学構内のレストハウス(1)－意見交換・敷地見学 各担当教員より、指導や評価の方法、受講の心構えなどについて、各グループごとに説明が行われます。 また、グループごとに実際の敷地を視察し、敷地の特性や問題点などについて意見交換を行います。				
	予習	課題説明用のレジュメの読み込み、コンセプトや空間イメージの仮設定など		(約2.0h)
	復習	敷地を選定し調査分析する。休息以外の機能を設定し、参考となる具体的事例の作品分析を行う。		(約2.0h)
3. 大学構内のレストハウス(2)－事例調査・敷地サーベイ 各自が設計するレストハウスのコンセプトとそれに関連する参考事例について発表をしてもらいます。 また、設計する敷地について、敷地の形態的特徴、機能的特性、敷地の歴史性など、 個々の調査内容を建築的な観点から発表を行ってもらいます。				
	予習	大学構内のレストハウスとして参考になりそうな小建築・空間を建築雑誌・作品集等で調べる。		(約2.0h)
	復習	設定したコンセプトを考慮しながら、休息以外の機能を設定し、参考となる具体的事例の作品分析を行う。		(約2.0h)
4. 大学構内のレストハウス(2)－事例調査・敷地サーベイ 各自が設計するレストハウスのコンセプトとそれに関連する参考事例について発表をもらいます。 また、設計する敷地について、敷地の形態的特徴、機能的特性、敷地の歴史性など、 個々の調査内容を建築的な観点から発表を行ってもらいます。				
	予習	大学構内のレストハウスとして参考になりそうな小建築・空間を建築雑誌・作品集等で調べる。		(約2.0h)
	復習	設定したコンセプトを考慮しながら、休息以外の機能を設定し、参考となる具体的事例の作品分析を行う。		(約2.0h)
5. 大学構内のレストハウス(3)－敷地の選定とイメージスケッチの作成 あらかじめ設定された3つの敷地の中から、各々が描くイメージに最も相応しい敷地を一つ選択します。 それにともなって、制作する建築作品のイメージスケッチを作成します。				
	予習	敷地分析及び参考事例としての建築作品の分析を踏まえた上で、自分の作品のコンセプトの発表準備をす		(約2.0h)
	復習	敷地模型、建築のヴォリューム模型を作成し、イメージスケッチとコンセプトを再考する。		(約2.0h)
6. 大学構内のレストハウス(3)－敷地の選定とイメージスケッチの作成 あらかじめ設定された3つの敷地の中から、各々が描くイメージに最も相応しい敷地を一つ選択します。 それにともなって、制作する建築作品のイメージスケッチを作成します。				
	予習	敷地分析及び参考事例としての建築作品の分析を踏まえた上で、自分の作品のコンセプトの発表準備をす		(約2.0h)
	復習	敷地模型、建築のヴォリューム模型を作成し、イメージスケッチとコンセプトを再考する。		(約2.0h)
7. 大学構内のレストハウス(4)－基本設計 敷地調査による分析結果やイメージスケッチ等の情報から、選択した敷地の基本的な配置計画を検討します。また、作成した配置計画と連動して、計画するレストハウスの基本設計を行います。				
	予習	敷地の場所性、レストハウスのコンセプトの図式化に基づいた全体配置図、シエマの作成。		(約2.0h)
	復習	レストハウスのコンセプト、シエマの再考とシエマに基いた造形イメージの構想。		(約2.0h)
8. 大学構内のレストハウス(4)－基本設計 敷地調査による分析結果やイメージスケッチ等の情報から、選択した敷地の基本的な配置計画を検討します。また、作成した配置計画と連動して、計画するレストハウスの基本設計を行います。				
	予習	敷地の場所性、レストハウスのコンセプトの図式化に基づいた全体配置図、シエマの作成。		(約2.0h)
	復習	レストハウスのコンセプト、シエマの再考とシエマに基いた造形イメージの構想。		(約2.0h)

○授業計画	科目名	設計製図2 (Atelier Practice of Design and Drawing 2)	授業コード	L030752
	担当教員	江越 充、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、小田 健、福田 健、石井 翔大		
学修内容				
9. 大学構内のレストハウス(5)－断面・立面の検討 前回は引き続き、基本設計を行います。 空間の用途や動線、家具や植栽の配置など、設計する建物の内外についての具体的な計画に加え、 断面・立面の検討により、空間のイメージをふくらませていきます。				
	予習	レストハウスのコンセプト、シエマ、造形イメージに基づくエスキースの作成		(約2.0h)
	復習	レストハウスのコンセプト、シエマの再考とシエマに基いた造形イメージの構想。		(約2.0h)
10. 大学構内のレストハウス(5)－断面・立面の検討 前回は引き続き、基本設計を行います。 空間の用途や動線、家具や植栽の配置など、設計する建物の内外についての具体的な計画に加え、 断面・立面の検討により、空間のイメージをふくらませていきます。				
	予習	レストハウスのコンセプト、シエマ、造形イメージに基づくエスキースの作成		(約2.0h)
	復習	レストハウスのコンセプト、シエマの再考とシエマに基いた造形イメージの構想。		(約2.0h)
11. 大学構内のレストハウス(6)－スタディ模型によるデザインの再検討 上記の計画図面に基づいて、簡単なスタディ模型を作成します。 模型を見ながらデザイン的な最終チェックを行い、必要に応じて意匠を修正します。				
	予習	レストハウスのコンセプト、シエマ、造形イメージに基づく平立断面図のエスキースとスタディ模型の作成。		(約2.0h)
	復習	授業中に指摘された計画案のエスキースの問題点の再考		(約2.0h)
12. 大学構内のレストハウス(6)－スタディ模型によるデザインの再検討 上記の計画図面に基づいて、簡単なスタディ模型を作成します。 模型を見ながらデザイン的な最終チェックを行い、必要に応じて意匠を修正します。				
	予習	レストハウスのコンセプト、シエマ、造形イメージに基づく平立断面図のエスキースとスタディ模型の作成。		(約2.0h)
	復習	授業中に指摘された計画案のエスキースの問題点の再考		(約2.0h)
13. 大学構内のレストハウス(7)－図面のプレゼンテーションと模型制作 最終的な図面の仕上げと詳細模型の制作を行います。 図面にはできるだけスケッチの挿入や着色を施し、各自表現方法を工夫してプレゼンテーションします。				
	予習	平立断面図のエスキース、パース、模型の作成、及びプレゼンテーション図面の検討と発表準備。		(約2.0h)
	復習	授業中に指摘された計画案のエスキースの問題点の再考		(約2.0h)
14. 大学構内のレストハウス(7)－図面のプレゼンテーションと模型制作と評価 最終的な図面の仕上げと詳細模型の制作を行います。 図面にはできるだけスケッチの挿入や着色を施し、各自表現方法を工夫してプレゼンテーションします。 提出されたものを元に成績評価を行います。				
	予習	平立断面図のエスキース、パース、模型の作成、及びプレゼンテーション図面の検討と発表準備。		(約2.0h)
	復習	授業中に指摘された計画案のエスキースの問題点の再考		(約2.0h)
15. 大学構内のレストハウスの全体講評 全体投票の対象となった学生の作品について投票会を行い、投票数の多い順に発表を行います。				
	予習	設計案の図面、模型、パースの作成、及びそれらのプレゼンテーション図面の作成、発表準備		(約2.0h)
	復習	講評会にて指摘された設計案、プレゼンテーション図面の問題点を訂正し、ポートフォリオを作成。		(約2.0h)
16. アーバンスモールビル(1)－課題説明 第2課題「アーバンスモールビル」について主旨説明を行います。 課題出題に引き続いてグループ編成が行われ、 各担当教員より、指導や評価の方法、受講の心構えなどについて個別の説明が行われます。				
	予習	課題文の読み込み、コンセプトや空間イメージの検討		(約2.0h)
	復習	敷地調査、考えたコンセプトと敷地とのマッチングの確認、参考事例の選定と調査		(約2.0h)

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	設計製図2 (Atelier Practice of Design and Drawing 2)	授業コード	L030752
	担当教員	江越 充、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、小田 健、福田 健、石井 翔大		
学修内容				
17. アーバンスモールビル(2)ー敷地調査と事例調査 敷地についての調査結果、考えてきたコンセプトとそれに合う既往事例について発表を行ってまいります。				
	予習	興味あるアーバンスモールビルの具体的事例を『新建築』から探し、調査すること。	(約2.0h)	
	復習	課題設定された敷地の調査分析を行う。アーバンスモールビルの具体的事例の作品分析を行う。	(約2.0h)	
18. アーバンスモールビル(2)ー敷地調査と事例調査 敷地についての調査結果、考えてきたコンセプトとそれに合う既往事例について発表を行ってまいります。				
	予習	興味あるアーバンスモールビルの具体的事例を『新建築』から探し、調査すること。	(約2.0h)	
	復習	課題設定された敷地の調査分析を行う。アーバンスモールビルの具体的事例の作品分析を行う。	(約2.0h)	
19. アーバンスモールビル(3)ー調査結果と課題の整理 メモや写真による調査結果資料を基に、街の良い点や悪い点などについてグループ内で意見交換を行い、当該ビルを設計するに当たって考慮すべき課題と特性について整理します。そこから街に必要なビルの機能を各々設定します。				
	予習	敷地分析、アーバンスモールビルの事例分析を踏まえた上での自らの作品のコンセプトの発表準備。	(約2.0h)	
	復習	敷地の周辺模型、アーバンスモールビルのヴォリューム模型の作製。自らの作品のコンセプトの再考。	(約2.0h)	
20. アーバンスモールビル(3)ー調査結果と課題の整理 メモや写真による調査結果資料を基に、街の良い点や悪い点などについてグループ内で意見交換を行い、当該ビルを設計するに当たって考慮すべき課題と特性について整理します。そこから街に必要なビルの機能を各々設定します。				
	予習	敷地分析、アーバンスモールビルの事例分析を踏まえた上での自らの作品のコンセプトの発表準備。	(約2.0h)	
	復習	敷地の周辺模型、アーバンスモールビルのヴォリューム模型の作製。自らの作品のコンセプトの再考。	(約2.0h)	
21. アーバンスモールビル(4)ーイメージスケッチの作成 設計条件、周辺環境、現実の敷地条件を基に、ボリュームの設定、及びファサードや室内空間のイメージスケッチ等により、建物の基本的デザインを考えます。				
	予習	設計条件の整理、敷地特性の整理をふまえ、自らの作品のコンセプトとヴォリューム模型を作成。	(約2.0h)	
	復習	自らの作品のコンセプトと設計案の再考。	(約2.0h)	
22. アーバンスモールビル(4)ーイメージスケッチの作成 設計条件、周辺環境、現実の敷地条件を基に、ボリュームの設定、及びファサードや室内空間のイメージスケッチ等により、建物の基本的デザインを考えます。				
	予習	設計条件の整理、敷地特性の整理をふまえ、自らの作品のコンセプトとヴォリューム模型を作成。	(約2.0h)	
	復習	自らの作品のコンセプトと設計案の再考。	(約2.0h)	
23. アーバンスモールビル(5)ー基本設計 敷地調査による分析結果やイメージスケッチ等の情報から、基本的な配置計画を検討します。また、作成した配置計画と連動して、計画するアーバンスモールビルの基本設計を行います。				
	予習	敷地特性に基づく配置計画、作品コンセプトに基づく建築工法とデザインの整合性を整理する。	(約2.0h)	
	復習	自らの作品コンセプトに応じたデザインに適した建築の構造計画に関して再検討を行う。	(約2.0h)	
24. アーバンスモールビル(5)ー基本設計 敷地調査による分析結果やイメージスケッチ等の情報から、基本的な配置計画を検討します。また、作成した配置計画と連動して、計画するアーバンスモールビルの基本設計を行います。				
	予習	敷地特性に基づく配置計画、作品コンセプトに基づく建築工法とデザインの整合性を整理する。	(約2.0h)	
	復習	自らの作品コンセプトに応じたデザインに適した建築の構造計画に関して再検討を行う。	(約2.0h)	

○授業計画	科目名	設計製図2 (Atelier Practice of Design and Drawing 2)	授業コード	L030752
	担当教員	江越 充、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、小田 健、福田 健、石井 翔大		
学修内容				
25. アーバンスモールビル(6)ー断面・立面の検討 前回に引き続き、基本設計を行います。空間の用途や動線、家具や植栽の配置など、設計する建物の内外についての具体的な計画に加え、断面・立面の検討により、空間のイメージをさらに固めます。				
	予習	自らの作品コンセプトに基づく内部空間の構成と造形の検討。	(約2.0h)	
	復習	建築作品の構造、内部空間、外観の再検討。	(約2.0h)	
26. アーバンスモールビル(6)ー断面・立面の検討 前回に引き続き、基本設計を行います。空間の用途や動線、家具や植栽の配置など、設計する建物の内外についての具体的な計画に加え、断面・立面の検討により、空間のイメージをさらに固めます。				
	予習	自らの作品コンセプトに基づく内部空間の構成と造形の検討。	(約2.0h)	
	復習	建築作品の構造、内部空間、外観の再検討。	(約2.0h)	
27. アーバンスモールビル(7)ー全体構成の再検討 上記の計画図面に基づいて全体構成の再検討とさらなるブラッシュアップを試み、講評会に備え、プレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	敷地条件、自らの作品コンセプトに応じた建築設計の全体像のまとめを行う。	(約2.0h)	
	復習	自らの作品コンセプトを提出図面、模型に適したものとするための問題点と解決案を検討し、解決する。	(約2.0h)	
28. アーバンスモールビル(7)ー全体構成の再検討 上記の計画図面に基づいて全体構成の再検討とさらなるブラッシュアップを試み、講評会に備え、プレゼンテーションの準備を行います。				
	予習	敷地条件、自らの作品コンセプトに応じた建築設計の全体像のまとめを行う。	(約2.0h)	
	復習	自らの作品コンセプトを提出図面、模型に適したものとするための問題点と解決案を検討し、解決する。	(約2.0h)	
29. アーバン・スモール・ビルの評価 各グループで教員が各学生の作品について評価を行います。その結果で全体投票を受ける学生を教員が決定します。				
	予習	プレゼンテーションボードの作成、発表練習	(約2.0h)	
	復習	自分の作品に対する反省、講評会発表者の内容を聞いての感想作成、次の課題への課題設定	(約2.0h)	
30. アーバン・スモール・ビルの全体講評 全体投票の対象となった学生の作品について投票会を行い、投票数の多い順に発表を行います。				
	予習	プレゼンテーションボードの作成、発表練習	(約2.0h)	
	復習	自分の作品に対する反省、講評会発表者の内容を聞いての感想作成、次の課題への課題設定	(約2.0h)	
31. 期末試験 期末試験は行いませんが、外部講師を呼んで特別講義などを行う場合があります。また、講義終了以降に履修者による製図室の大掃除を行う予定です。				
	予習	ポートフォリオの作成	(約2.0h)	
	復習	フィードバックに対する修正、特別講義の内容の復習	(約2.0h)	
32.				
	予習			
	復習			